

# 観点別教材一覧

## 1. 基本的人権・共生社会にかかわる教材

編	章	ページ	項目
2	—	P.54	奴婢身分の消滅
	—	P.56	古代の女性—政治や文化での活躍—
3	—	P.90-93	中世の琉球やアイヌとのかかわり
	—	P.95	中世の女性—商工業を担う女性たち—
	—	P.99	河原者がつくり出した文化
4	—	P.130-133	琉球王国とアイヌとの関係
	—	P.134-135	江戸時代の身分制
	—	P.147	豊かになる人々と身分制のひきしめ
5	1	P.162-163	プランテーションと労働運動の始まり
	1	P.164-165	王政から議会制へ
	1	P.168-169	アメリカの奴隷解放宣言、先住民の移住
	1	P.178	渋染一揆（岡山県）

編	章	ページ	項目
5	1	P.181	身分制の廃止と四民平等
	1	P.192-193	沖繩・アイヌの人々
	1	P.194-201	立憲制国家の成立
	1	P.211-212	日本の近代化と社会運動の発展
	1	P.213	近代の女性—家制度と社会運動—
6	2	P.230-233	大正デモクラシーの時代
	2	P.233	近代の女性—女性の政治参加を求めて—
	—	P.266-267	日本国憲法の成立と民主化の進展
—	—	P.268-269	生活や権利を守る動き
—	—	P.277	在日韓国・朝鮮人の歴史とコリアタウン（大阪市）
—	—	P.283	現代の女性—男女共同参画社会の実現へ—
—	—	P.302-303	政治参加の歴史に学ぶ

## 2. 平和・国際理解にかかわる教材

編	章	ページ	項目
2	—	P.32-33	ヤマト王権と渡来人
	—	P.37	朝貢・冊封とは何か
3	—	P.85	海底から姿を現した元の軍船（長崎県松浦市）
4	—	P.120	秀吉の海外政策
5	1	P.202-209	日清・日露戦争と東アジアの動き
	1	P.215	エルトゥール号遭難事件（和歌山県串本町）
	2	P.224-229	第一次世界大戦と戦後の世界
	2	P.231	国際協調と軍備縮小

編	章	ページ	項目
5	2	P.238-253	世界恐慌・第二次世界大戦と日本
6	—	P.264-273	平和と民主化への動き
	—	P.275	核兵器廃絶と平和への願い（広島市）
—	—	P.276-277	沖繩返還と韓国・中国との国交正常化
—	—	P.280-281	オリンピック・パラリンピックの歴史
—	—	P.286-287	冷戦の終わりとグローバル化
—	—	P.290-291	世界のなかの日本の課題
—	—	P.304-305	世界平和への取り組みに学ぶ

## 3. 伝統・文化にかかわる教材

編	章	ページ	項目
2	—	P.48-50, 54-57	古代の文化
	—	P.51	日本の神話
	—	P.58-59	文化財を守り伝える仕事
3	—	P.78-81, 98-101	中世の文化
	—	P.92-93	琉球の文化
4	—	P.122-123	安土桃山時代の文化

編	章	ページ	項目
4	—	P.132-133	アイヌ文化の成熟
	—	P.142-145, 150-153	江戸時代の文化と学問
5	1	P.186-189, 212-214	近代（前半）の文化
	2	P.234-236	近代（後半）の文化
6	—	P.284-285	メディアの発達と大衆文化
—	—	巻末	折り込み年表
—	—	—	日本の世界遺産、文化財の種類

## 4. 我が国の国土と歴史への理解と愛情にかかわる教材

編	章	ページ	項目
5	1	P.192-193	領土の画定と隣接地域
6	—	P.265	縮小した領土

編	章	ページ	項目
6	—	P.276-277	復帰運動の高まりと沖繩返還
	—	P.292-293	冷戦終結後の近隣諸国との関係

## 5. 環境・持続可能な社会にかかわる教材

編	章	ページ	項目
4	—	P.154-155	幕府のはげ山対策と都市に住む人々のリサイクル
5	1	P.216-217	経済発展か、環境保全か、足尾鉾毒事件を通して考えよう（栃木県）

編	章	ページ	項目
6	—	P.279	高度経済成長のひずみ
	—	P.294-295	公害克服の歴史を調べる（福岡県北九州市）

## 6. 防災・安全にかかわる教材

編	章	ページ	項目
4	—	P.149	天明のききんと復興
5	2	P.235	関東大震災
6	—	P.288	安心・安全のゆらぎ

編	章	ページ	項目
6	—	P.291	私たちにできること —震災の教訓を未来に伝える—（宮城県女川町）
	—	P.300-301	災害の歴史に学ぶ

## 7. 情報にかかわる教材

編	章	ページ	項目
1	—	P.8	調べ学習のポイント、相手に伝える説明のしかた
	—	P.11	年代・時代区分のあらわし方
2	—	P.41	系図の見方
	—	P.57	仏像の見方

編	章	ページ	項目
2	—	P.60	史跡見学のしかた
3	—	P.102	博物館見学のしかた
	—	P.103	歴史新聞づくりのポイント
5	2	P.257	戦争遺跡の見学のしかた

## 8. 社会参画にかかわる教材

編	章	ページ	項目
6	—	P.291	歴史から未来へ

編	章	ページ	項目
—	—	P.298-305	「歴史との対話」を未来に活かす

教師用指導書は、「学習指導編」、「ワークシート・評価問題編」の2分冊と、「デジタルデータ集(CD-ROM)」から構成されます。

## 学習指導編

<b>総論編</b>	学習指導要領と教科書の対応などを解説した論考や、学習指導計画作成資料などを掲載しています。
<b>学習指導編</b>	毎時の展開例・板書例・内容の解説(「資料活用」「深めよう」「確認」などの解答例・手立てを含む)などを掲載しています。

### 板書例

授業の際に参考になる板書例を掲載しています。

教科書P.40-41 ワークシート/別冊P.16

## 2 日本列島の人々と国家の形成 / 1 2 3 4 5 6

### 5 聖徳太子と飛鳥文化—巨大帝国と向き合いながら—

<b>本時の視点</b>	隋が中国を統一すると、倭国でも蘇我氏や聖徳太子らが国家整備を行ない、遣隋使を派遣して新しい政治・文化を導入させた。この時代は、その後の中央集権体制への移行期であった。 また、この時期に栄えた飛鳥文化は、仏教を中心とし、中国南北朝や朝鮮の影響が強いものであったことも理解させたい。
<b>本時のねらい</b>	●資料の読み取りなどを通して、東アジアの文物や制度を取り入れながら国家の仕組みが整えられていったことを理解することができる。 ●蘇我氏や聖徳太子が定めた制度や進めた事業の特徴をとりえて、どのような国づくりを目指したのかについて考え、表現することができる。
<b>評価規準</b>	知識・技能【知】 当時の政治や飛鳥文化についてまとめる。東アジアの文物や制度を取り入れながら国家の仕組みが整えられていったことを理解することができる。 思考・判断・表現【思】 蘇我氏や聖徳太子が定めた制度や進めた事業の共通性に着目して、どのような政治を行ったのかについて考え、表現している。

本時の展開	ねらい・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価
導入10分	○蘇我氏と聖徳太子が行った政治について、内容を把握する。 ◆ワークシートに蘇我氏と聖徳太子が行った政治の内容についてまとめる。 <b>学習課題</b> ：蘇我氏や聖徳太子が定めた制度や進めた事業には、どのような共通するねらいがあるのでしょうか。	●小学校の学習内容を復習し、生徒の吹き出しを活用して「学習課題」を提示する。「見方・考え方」のような国づくりのための制度や事業だったのかに着目し、「学習課題」の解決を目指して学習を進める。	
展開25分	○蘇我氏と聖徳太子の政治の特徴をまとめる。 ◆ワークシートにまとめた内容から、当時の政治の特徴や意図はどのようなものか話し合う。 ○飛鳥文化の作品の特徴について理解する。 ◆飛鳥文化の代表的な作品を見て、その特徴について考え、自身の意見をワークシートにまとめる。 ○飛鳥文化の背景を考える。 ◆「深めよう」の問いについて、教科書の記述やワークシートをもとに意見を話し合う。	●既習事項の確認や資料などの読み取りを通して、蘇我氏と聖徳太子の国内政治や対外政策のそれぞれの特徴や意図をつかめるようにする。 ●教科書資料6、8、9などから日本と海外の作品を見比べて、飛鳥文化の特徴をとらえる。 <b>【比較】</b> ●教科書資料は拡大したものを黒板に貼ったり、プロジェクター等で投影したりしてもよい。 ●隋、唐の中国統一などの海外情勢が倭国に与えた影響を踏まえ、仏教が積極的に取り入れた理由を考えられるようにする。 <b>【つながり】</b>	●発表内容から、蘇我氏と聖徳太子がおこなった政治の特徴をとらえているかを評価する。【知】
まとめ15分	○蘇我氏と聖徳太子の政治の特徴から、そのねらいについて理解する。 ◆確認について、グループで意見をまとめる、発表し合う。	●本時で学習してきた政治や文化の特徴を比べて、共通している部分(「ねらい」)はどこかということ考えられるようにする。 <b>【比較】</b>	●話し合いの様子から、蘇我氏や聖徳太子が国家としての体制を整える仕組みづくりに尽力したことを評価する。【思】

### 本時の展開

教科書の展開に沿った学習活動や発問例、指導上の留意点、評価などを、使いやすい指導案の形で例示しています。「見方・考え方」を授業でどう扱うかについても提案しています。

### 解答例・手立て

教科書の中に出てくる問いの解答例や、指導の手立てを示しています。

**板書例**

◆蘇我氏や聖徳太子が定めた制度や進めた事業には、どのような共通するねらいがあるのでしょうか。  
国外の動き：隋(唐)の様子→中国統一が進む

◆蘇我氏と聖徳太子の国内政治の特徴  
→儒教や仏教の思想の導入  
→天皇や政府の力を強める体制づくり

◆遣隋(唐)使の派遣の意図  
→隋との国交樹立  
→新しい政治や文化の導入

●飛鳥文化  
・文化財：法隆寺、四天王寺  
・文化：法隆寺、玉虫野子、弥勒菩薩像  
→中国・朝鮮などの文化の影響を受けた。日本でも最初の仏教文化

◆なぜ熱心に仏教を信じ、寺院を建てたのか。  
→中国・朝鮮などの文化の影響を受けた。日本でも最初の仏教文化

◆なぜ熱心に仏教を信じ、寺院を建てたのか。  
→中国・朝鮮などの文化の影響を受けた。日本でも最初の仏教文化

◆なぜ熱心に仏教を信じ、寺院を建てたのか。  
→中国・朝鮮などの文化の影響を受けた。日本でも最初の仏教文化

**内容の解説**

図2「聖徳太子と伝えられる肖像画」  
既習事項を活用して「学習課題」を提示する。「見方・考え方」のような国づくりのための制度や事業だったのかに着目し、「学習課題」の解決を目指して学習を進める。

図3「十七条の憲法」  
官原制に再編成されるべき諸宗族に対する政治的優遇や道徳的訓戒という性質を持ち、後世の法に強い影響を残した。

図4「遣隋使の手紙と隋の皇帝」  
倭国からの国書には、隋の皇帝様だけでなく、倭国王に対しても「天子」の称号を用いている。中華思想において「天子」は唯一であるため、倭国の国書は倭帝にとって非常識極まりないものであり、これに対して激怒した。

図8「飛鳥時代の日本の仏像」  
この仏像は、京都市にある法隆寺の弥勒菩薩半跏像である。法隆寺は、607年、渡来人系の蘇我氏から新羅と加羅の使者がもってきた仏像をさすけられ、629年、太子の没後にその仏像を安置することで創建された。

◆「深めよう」  
仏教と外国の宗教の考えを取り入れ、国内の思想をまとめた。また、権威のシンボルとして寺院の建立を進めた。

◆「確認」  
隋が中国を統一するなか、倭国でも大陸文化を取り入れて、国家のしくみを整えようとした。

## ワークシート・評価問題編

<b>ワークシート編</b>	教科書に準拠した、学習指導編の展開例の内容に対応するワークシートを掲載します。 ※解答例入りの赤刷りは、デジタルデータ集(CD-ROM)に収録しています。
<b>評価問題編</b>	単元ごとに作成した「評価問題例」と「評価問題例の解説」を掲載しており、定期テストなどでの問題作成の参考となるようにしています。 <b>評価問題例</b> 知識・技能等を評価する問題や思考力・判断力・表現力等を評価する問題をバランスよく設定しています。特に思考力・判断力・表現力等を評価する問題については、様々な歴史的な見方・考え方を働かせて解答する問題を設定するなどの工夫をしています。 <b>評価問題例の解説</b> 解答例のほか、A判定の生徒に対する更なる課題や、誤答箇所別対応などのその後の指導方法も提案しています。

## デジタルデータ集(CD-ROM)

<b>教科書収録データ</b>	<p>① 教科書紙面データ集 (総ルビ付きPDFも収録) 電子黒板など提示型ICT機器を利用して、授業に活用できるように、教科書全ページの紙面をPDF形式で収録しています。</p> <p>② 教科書本文テキスト 教科書の本文・コラムなどのテキストデータを収録しています。</p> <p>③ 教科書図版データ集 プリントやテスト作成の際に活用できるように、教科書図版をモノクロ化して収録しています。</p>
<b>付録データ</b>	<p>④ 学習指導計画案 評価規準の参考事例となる学習指導計画作成資料を収録しています。</p> <p>⑤ ワークシート 解答例なし・解答例入りの2種類を収録しています。</p> <p>⑥ 白地図 日本全図・国県対照と五畿七道など</p>

ワークシートNo.16  
第2編 古代までの日本と世界 2 日本列島の人々と国家の形成  
5 聖徳太子と飛鳥文化—巨大帝国と向き合いながら— 教科書P.040-041

年 組 番 名前 \_\_\_\_\_ 学習日 年 月 日

**学習課題** 蘇我氏や聖徳太子が定めた制度や進めた事業には、どのような共通するねらいがあるのでしょうか。

① 蘇我氏や聖徳太子が定めた制度や進めた事業を、それぞれまとめよう。

国内の政治	海外への働きかけ
●冠位十二階の制度 →ヤマト王権の家族たちの序列をはっきりさせた。	●遣隋(唐)使を派遣する →中国を統一した隋に小野妹子などの使節を送った。 →留学生や僧を同行させた。
●十七条の憲法を定める →ヤマト王権の家族たちが役人として天皇につかえらるときの心がまえを示した。	●中国を統一した隋(唐)と国交を結ぼうとした。 →ヤマト王権の家族を支配する仕組みを整えようとした。

② 飛鳥文化の特徴についてまとめよう。  
① 飛鳥文化を代表する建築や作品

法隆寺(奈良県)、四天王寺(大坂市)  
釈迦三尊像(法隆寺)、玉虫野子(法隆寺)、弥勒菩薩半跏像(法隆寺)

② 飛鳥文化はどのような文化だろうか。

中国や朝鮮などの文化の影響を受けた。日本でも最初の仏教文化

③ 蘇我氏や聖徳太子はなぜ熱心に仏教を信じて、次々に寺院を建てたのだろうか。

●寺院を建てることで自分の権威を示そうと考えたため。  
(仏教と外国の宗教の考えを取り入れて、国内の思想をまとめたため。)

④ 蘇我氏や聖徳太子が新たな制度や文化を取り入れたのは、なぜだろうか。

自分の考え \_\_\_\_\_ 隋(唐)が中国を統一する国際情勢のなか、倭国でも国家のしくみを整えようとした。

現在のモンゴルの騎馬

P.66~67の地図と比べてみよう。

④ 元の襲来と鎌倉幕府—ユーラシアの帝国と御家人の藩閥—

強大なモンゴル帝国  
13世紀の初め、チンギスハーンがモンゴル民族を統一し、モンゴル帝国を築きました。モンゴル帝国は、アジアからヨーロッパにまたがる広大な地域であるユーラシア大陸を支配しましたが、のちに分裂しました。東部を治めたフビライハーンは、都を大都(今の北京)に移し、国号を元と決めました。フビライは、1279年に宋をほろぼして中国全土を支配しました。モンゴル帝国が成立したことにより、交通路が整えられ、東西の

① 教科書紙面データ集 総ルビ付きPDF

→⑥ 白地図

## ●学習者用デジタル教科書

生徒一人一人に個別に最適化された学びをサポートします！

日本文教出版は、「学校教育法等の一部を改正する法律」の公布を受けて制度化された、**学習者用デジタル教科書**を発売します。

この学習者用デジタル教科書は、学校教育法において規定された基準において、必要に応じて紙の**教科書に代えて**利用することができます。



↑教科書 P.82-83

## デジタル教科書って何？

### ポイント①



紙の教科書と同一の内容を収録しており、紙の教科書と併用して使用することができます。

### ポイント②



基本的に生徒一人一人が、個々の端末で利用します。

### ポイント③

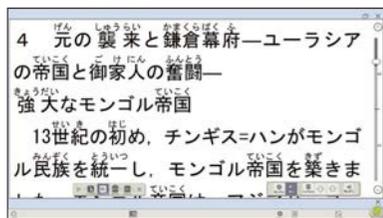


紙面の拡大や書き込みなど、ICT教材ならではの機能が活用できます。

## 学びを助ける機能の充実

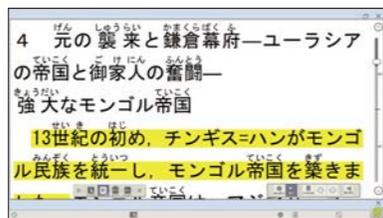
充実した機能は、特別な配慮を必要とする生徒の学習も支援します。

### リフロー・総ルビ表示



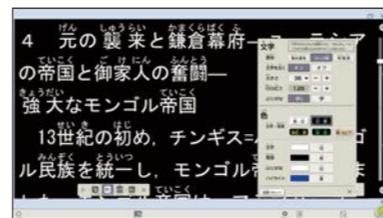
文字の大きさや行間を調整する**リフロー表示**が可能です。また、すべての漢字にルビ(ふりがな)を表示する**総ルビ表示**にも対応しています。

### 機械音声読み上げ



機械音声による**読み上げ機能**が搭載されています。読み上げ速度の変更や読み上げる箇所を**ハイライト表示**することも可能です。

### 背景色・文字色等の変更



**背景色や文字色、書体や行間**などを変更することが可能です。

## ●指導者用デジタル教科書(教材)

学習者用デジタル教科書とは別に、**指導者用デジタル教科書(教材)**も発売します。**動画やスライドショーなどのコンテンツ**を通して、内容理解をより深めることができます。



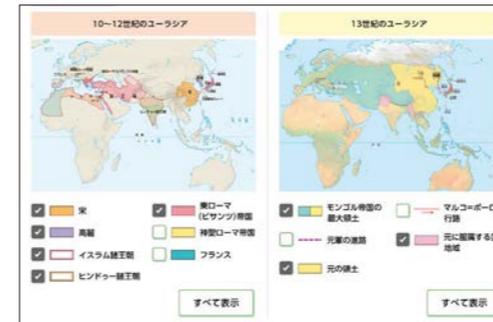
教科書紙面とコンテンツが一体化しており、授業をサポートする指導者用教材です。

## 豊富なコンテンツで生徒の理解を助けます

### コンテンツ例①

#### 地図の比較 「モンゴル帝国の成立前後」

紙の教科書では別ページに掲載している地図を並べて表示します。



↑教科書 P.82

### コンテンツ例②

#### 資料の解説 「歌舞伎」

**資料活用**の解答例を表示して、読み取り作業の確認ができます。



↑教科書 P.142

### コンテンツ例③

#### スライドショー 「勘合貿易のしくみ」

教科書の図版を段階的に示すことでより理解しやすくします。



↑教科書 P.90

### その他のコンテンツ例

- ・一斉授業で使いやすい「図版の単独拡大」
- ・読み取りに便利な「地図・グラフの凡例別表示」
- ・興味・関心を引き出す「アニメーション」など

## ●学習者用デジタル教科書+教材

学習者用のコンテンツを収録した教材です。生徒一人一人が**個々の端末**で利用することを想定しています。



### ●各種商品情報

「学習者用デジタル教科書」

「指導者用デジタル教科書(教材)」

「学習者用デジタル教科書+教材」

発売：令和3(2021)年3月 予定 / 価格：未定

動作環境：Microsoft Windows10/8.1、iOS11/12 (iPad)・iPadOS13、Google Chrome OS

※表示ソフトウェアは「まなビューア」を採用しています。

※本ソフトウェアは開発中のため、本記事の内容および仕様は予告なく変更する場合があります。



## 体験版のご案内

弊社ウェブサイトにて、ウェブブラウザ上で動作する各種商品の体験版を公開しています。ご利用にあたり、ファイルのダウンロード等は必要ございません。

🔍 日文 デジタルサポート 🔍 検索